西和花卉部会での環境保全型農業実践の取り組み事例(奈良県平群町)



西和花卉部会の概要

• 所在地:奈良県生駒郡平群町

• 発足:昭和57年4月

• 会員数:149名

• 主な栽培作物: 小ギク(露地主体)



花卉部会の研修会

• 栽培面積:約80ha 生産量約3,600万本

活動:共選共販、品種指定、資材共同購入、 生産技術の改善(造成農地での土づくり、育 種、電照栽培など)

キク生産における環境保全型農業の必要性について

他産地・輸入品との価格・品質競争

MPS(花き類生産・流通の環境も含めた総合的な 認証プログラム制度)による環境にやさしい花き 生産が実践された切り花が輸入されている 国内でもエコファーマーが増加

県内キク産地の状況

防除作業の負担軽減の要望大 産地での混住化が進行

生産者の意識

花は茎葉も商品、高品質が 当然で厳しい防除水準 花でのIPMは難しい



- ・小ギク生産の安定的維持のためにも、薬剤防除だけに頼らなNIPMの 実践が重要
- ・消費者にアピールできる環境に優しい小ギク生産技術の確立
- ・生産者が納得できる(得した感のある)環境保全型技術開発・導入が必要

奈良県平群町は全国有数の小ギク産地

200品種以上の作付け 5月~12月の連続出荷 露地栽培が主体

近年、オオタバコガの被害が多発



茎頂部を加害するオオタバコガ幼虫

お盆やお彼岸など出荷盛期には 防除作業が困難 慣行の薬剤散布では抑えきれない



オオタバコガ対策産地から強い要望

取り組みのポイント

ネット被覆栽培を軸としたキクでのIPM

ココがお得! ネット被覆によ る遮光で品質 アップ+省力化

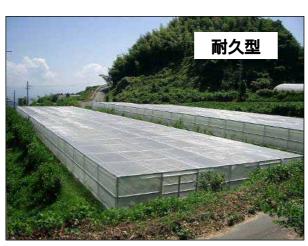
オオタバコガ防除法として露地圃場全面ネット被覆栽培の導入 結果的に殺虫剤散布回数は半減 土着天敵の活動が活発化

減肥・生分解マルチ利用による環境負荷低減

ココがお得! 肥料価格高騰 の時代に対応 +省力化

造成農地での慣行施肥 土壌診断に基づく施肥量決定 無駄な成長を抑えて品質向上 生分解性マルチ利用拡大

オオタバコガ対策として 現地に導入されている 様々なネットハウス





ネットハウス導入を契機としたキクでのIPMへの展開

オオタバコガ対策としてネットハウスを導入



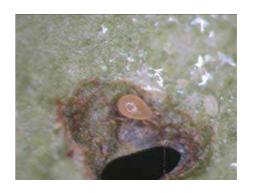
殺虫剤の散布回数が減少



ネットハウス内の土着天敵の活動活発化



土着天敵によるナミハダニ防除成功事例



技術確立に向けて 食の安全・安心確保 交付金事業で取組中 (病害虫防除所・農業総合センター 普及技術課・北部農林振興事務所 平群町・近畿大学)

生産物の扱われ方と今後の課題

- 産地としての取り組みをアピールすることも目 的。直接の価格への反映はない
- ネット栽培周辺での土着天敵相・量の把握
- 最終的には農薬散布作業のない体系が目標
- IP M技術や環境保全型農業技術は押しつけでは導入困難。生産者にどうやって「お得感」 を持ってもらうかが課題。あくまでも実施主体は生産者